

令和7年産水稻病害虫防除について(無人航空機防除体系)

JA 福岡大城 久留米普及指導センター 南筑後普及指導センター

梅雨期間が短く、飛来期間も短くなったため、海外飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の飛来量は昨年より少ないと予想されます。しかし、ウンカ類、特にトビイロウンカは急激に増加することがあるため、今後の発生状況には十分な注意が必要です。

また、**斑点米カメムシ類が急増**していると病害虫防除所から注意報（7月22日付）が出ました。今後も高温が続く場合、多発生すると予想されるため、確実な防除が必要です。なお、各病害虫の防除適期は、いもち病が出穂期ごろ、ウンカ、コブノメイガが幼虫発生時期、**カメムシ類は穂揃期とその7～10日後ごろで2回防除が効果的**です。また、紋枯病による倒伏防止には、出穂後に上位進展させないことが大事です。

!!防除の際は、湛水することで、薬剤の防除効果が安定します!!

【基本防除①】8月10日前後 ウンカ・コブノメイガ防除に必須!!以下の2剤を混合して散布

品種 (防除時期)	農薬名	希釈倍率 10a 当り薬剤量/散布液量	収穫前日数	対象病害虫
元気つくし ヒノヒカリ・ ツクシホマレ (8月9～14日)	オーケストラロムダン モンカットエアー +	8倍 100mL/0.8L	21日前まで	紋枯病 ウンカ類幼虫 コブノメイガ
	スタークル液剤 10	8倍 100mL/0.8L	7日前まで	ウンカ類、 カメムシ類
	バリダシンエアー	8倍 100mL/0.8L	14日前まで	紋枯病

※紋枯病が多発生している場合や、昨年紋枯病で倒伏したほ場、特に「元気つくし」などでは、バリダシンエアーを追加混用。

【基本防除②】出穂～穂揃期ごろ 発生病害虫に合わせて、以下の薬剤を混合散布

品種 (防除時期)	農薬名	希釈倍率 10a 当り薬剤量/散布液量	収穫前日数	対象病害虫
元気つくし (8月18～23日) ヒノヒカリ・ ツクシホマレ (8月25～30日)	ブラシンフロアブル	8倍 100mL/0.8L	7日前まで	いもち病
	トレボンエアー	8倍 100mL/0.8L	14日前まで	ウンカ類、 カメムシ類 コブノメイガ

【補正防除】乳熟期頃～ ウンカ・カメムシ類の発生が多い場合、散布

農薬名	希釈倍率 10a 当り薬剤量/散布液量	収穫前日数	対象病害虫
スタークル液剤 10	8倍 100mL/0.8L	7日前まで	ウンカ類、カメムシ類

☆農作業時の熱中症に注意しましょう!!

●日中の気温の高い時間を避け、涼しい時間帯に作業 ●こまめな休息と水分補給

【農薬の安全使用上の注意】①散布前に必ず農薬ラベルの登録内容等を確認!

②散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底! ③散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄! ④防除履歴の正確な記帳!